

平成31年度使用小・中学校用教科用図書「選定及び採択した理由」

第22採択地区教科用図書採択協議会

第22採択地区教科用図書採択協議会では、協議の結果、以下の理由で教科用図書を選定しました。また、上記の結果に基づき、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町の各教育委員会では、以下の理由で教科用図書を採択しました。

小学校（道徳を除く全教科）

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話す」「聞く」「話し合う」言語活動の中に「受けて返す」系列を設け、計画的かつ系統的に学習できるよう構成している。 ○巻頭に「いつも気を付けよう・続けてみよう」を掲載し、既習事項を振り返ったり、書くことを継続する方法を紹介したりしている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○書写学習の基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように、ねらいを確かめ、毛筆教材と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定している。 ○良い例と悪い例を示し、「どちらだろうか」などの問題を投げかける表現を用い、考えさせることで、学習のポイントをとらえられるようにしている。
社会	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年で今日的な課題や日本の優れた伝統や文化を系統的に取り上げるとともに、それを保護・継承している様子も見られ、地域や国土に対する愛情を育て、世界の人々と共生する意識を醸成するよう配慮されている。 ○学習場面に応じた「まなび方コーナー」を設け、資料の読み取り方やまとめ方のポイントを示し、全学年を通じて系統的に学習技能を習得できるようにしている。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
地図	帝国	<p>○日本と世界の地図においては、各学年の発達段階に応じて、関連する資料などとともに、効果的に配列されている。総合的な学習の時間や他の教科にも活用できるような構成となっている。</p> <p>○山地は立体的に描写し、土地利用の様子を4～5種類の色で表現されている。また、陸の高さ・海の深さは1～7段階で色分けされている。</p>
算数	東書	<p>○ねらいが明確に伝わるように構成された算数的活動を通して、数理的な処理のよさに気づき、自学自習の学習習慣を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>○児童が主体的に課題解決をし、よりよい解決方法にまとめられるように、「算数マイノートをつくろう」コーナーが設けられている。</p>
理科	学図	<p>○単元導入で、各小単元で学習することを文と写真を使って紹介し、単元全体の見通しをもつことができるよう配慮されている。</p> <p>○観察、実験の予想や考察について情報交換の場面や視点が設定され、相互に考えるための工夫がみられる。また、「やってみよう」では、別の実験方法が示され、複数の実験から考察できるようになっている。</p>
生活	学図	<p>○活動のねらいを明確にし、内容を五つの活動領域に整理し、活動の内容ごとに関連をもたせ、目的をもった活動となるよう配慮されている。</p> <p>○単元の途中に「ものしりノート」が配置され、話し方・聞き方・書き方等の学び方を具体的に示しているため、ポイントがわかり、主体的に学習ができるように工夫されている。</p>
音楽	教芸	<p>○題材は6年間を通して系統的に設定されており、表現と鑑賞の関連を図りながら学びが学年の中でつながり、学年を超えてつながるように構成されている。</p> <p>○音楽づくりでは、〔共通事項〕を核として題材構成の中に配置され、他の音楽活動と関連させながら取り上げられており、見通しをもって無理なく学習が進められるように学習の手順、約束ごと、活動例、ヒント等を具体的に示している。</p>

図画 工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が、主体的に活動できるような活動の写真や児童の作品を多く取り上げ、意欲を喚起し、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わえるようになっている。 ○作品の解説は児童の思いや願いが伝わる表現となっており、発想のポイントをブルーの囲みで示し、発想や構想をするうえでのヒントになっている。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○実践的な態度を育てるために、ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標をもって学習できるようにしている。 ○「参考」「発展」「環境」「消費」「防災」「食育」など、発展的な内容や今日的な課題の資料を提示している。
保健	光文	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自分の経験を振り返ったり、自分の生活の中で起こりうる場面でどう対処したらよいかについて考えさせたりすることで、児童が学習した内容を実生活に生かすことができるように工夫されている。 ○インターネットのトラブルや「熱中症」「AED」など、今日的な話題に対応した資料が掲載されている。

中学校（道徳）

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
道徳	学研	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の価値観を押しつけないよう、主題名などは入れず、児童が自ら主体的に課題を見つけ、解決する資質や能力を培うことを重視している。 ○教材文の最後の「考えよう」では児童が自己を見つめるきっかけとなるような投げかけや、話し合いを深められるような2つの問いが提案されている。 ○4種類の「学び方のページ」を設け、自己の生き方への考えを深めたり、多様な学習過程を提案し、多面的・多角的に考えたりすることができるようになっている。